



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉澤 博三
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	84,409	△22.3	2,711	△25.1	2,834	△29.4	1,350	-
2019年3月期第3四半期	108,652	△21.8	3,620	△58.2	4,013	△53.8	△2,020	-

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,246百万円 (-%) 2019年3月期第3四半期 △1,416百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	59.72	-
2019年3月期第3四半期	△81.04	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	83,833	59,785	65.4	2,415.17
2019年3月期	91,271	59,294	59.5	2,404.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 54,809百万円 2019年3月期 54,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	10.00	-	10.00	20.00
2020年3月期	-	20.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2020年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	△21.6	2,800	△28.9	3,300	△23.6	2,200	-	97.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	26,000,000株	2019年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,306,088株	2019年3月期	3,392,641株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	22,611,026株	2019年3月期3Q	24,927,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における世界経済は、米中貿易摩擦問題に一般感が見られるものの依然として火種を残しており、中国や欧州の景気は減速し、加えて地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属する電子部品業界においては、スマートフォン市場が成熟化したことに加え、新車販売が世界的に減速したため、電子部品の需要が減少しました。一方で、5GやCASEに代表される次世代自動車向け部品の開発が注目され始めています。

こうした中、当社グループは、スマートフォン向けヘッドセットの生産体制の合理化を推進すると同時に、車載関連ビジネスを中心におく事業変革を推進しました。また今後期待される新製品の量産立ち上げに取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、84,409百万円(前年同期比22.3%減)、営業利益は2,711百万円(前年同期比25.1%減)、経常利益は2,834百万円(前年同期比29.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,350百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,020百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

車載用スピーカ・スピーカシステムは、世界的な新車販売台数の減少に伴い、売上高が48,728百万円(前年同期比7.6%減)、営業利益が2,571百万円(前年同期比23.6%減)となりました。

[モバイルオーディオ事業]

主要顧客向けヘッドセットの販売数量が減少したことから、売上高が30,977百万円(前年同期比39.7%減)、営業利益が388百万円(前年同期は営業損失19百万円)となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、4,813百万円(前年同期比2.0%増)でした。営業損失は開発費の発生により248百万円(前年同期は営業利益273百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末に比べ7,437百万円減少して83,833百万円となりました。負債は、主に借入金の減少により前連結会計年度末に比べ7,928百万円減少して24,048百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ491百万円増加して59,785百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比5.9ポイント増の65.4%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより20,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,315百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、棚卸資産の減少等により7,498百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により150百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、借入金の減少等により8,089百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向に鑑み業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「特別損失の計上及び特別利益の計上(見込み)並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,854	18,295
受取手形及び売掛金	18,888	18,936
電子記録債権	373	251
有価証券	11,386	2,880
製品	16,405	12,896
原材料	5,247	3,939
仕掛品	1,148	1,228
貯蔵品	167	166
未収入金	1,033	642
その他	1,291	1,782
貸倒引当金	△24	△31
流動資産合計	67,773	60,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,127	8,322
機械装置及び運搬具(純額)	5,187	3,890
工具、器具及び備品(純額)	2,142	1,780
土地	874	1,429
建設仮勘定	1,142	2,590
有形固定資産合計	18,475	18,013
無形固定資産		
ソフトウェア	194	100
借地権	821	—
その他	154	111
無形固定資産合計	1,171	212
投資その他の資産		
投資有価証券	2,488	3,203
長期前払費用	97	141
退職給付に係る資産	697	732
繰延税金資産	240	244
その他	326	299
投資その他の資産合計	3,851	4,621
固定資産合計	23,497	22,847
資産合計	91,271	83,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,334	8,086
短期借入金	2,634	2,348
1年内返済予定の長期借入金	6,863	1,511
未払金	3,112	2,620
未払法人税等	713	810
未払費用	2,005	1,991
賞与引当金	689	649
その他	1,098	798
流動負債合計	25,453	18,816
固定負債		
長期借入金	5,108	3,365
繰延税金負債	778	1,077
退職給付に係る負債	77	66
役員退職慰労引当金	12	15
株式給付引当金	92	116
資産除去債務	244	248
その他	208	343
固定負債合計	6,523	5,232
負債合計	31,977	24,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	7,961	7,957
利益剰余金	44,813	45,481
自己株式	△5,222	△5,089
株主資本合計	54,322	55,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677	1,198
為替換算調整勘定	△161	△1,182
退職給付に係る調整累計額	△488	△326
その他の包括利益累計額合計	27	△310
非支配株主持分	4,944	4,975
純資産合計	59,294	59,785
負債純資産合計	91,271	83,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	108,652	84,409
売上原価	94,922	72,390
売上総利益	13,729	12,019
販売費及び一般管理費	10,109	9,307
営業利益	3,620	2,711
営業外収益		
受取利息	103	209
受取配当金	35	30
為替差益	292	—
雑収入	325	323
営業外収益合計	757	562
営業外費用		
支払利息	149	103
為替差損	—	208
雑損失	214	129
営業外費用合計	364	440
経常利益	4,013	2,834
特別利益		
固定資産売却益	—	2,918
国庫補助金	—	295
特別利益合計	—	3,213
特別損失		
減損損失	2,401	2,290
特別退職金	1,235	668
特別損失合計	3,636	2,959
税金等調整前四半期純利益	376	3,088
法人税、住民税及び事業税	836	1,190
法人税等調整額	1,013	59
法人税等合計	1,849	1,249
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,473	1,838
非支配株主に帰属する四半期純利益	547	488
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,020	1,350

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,473	1,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△213	520
為替換算調整勘定	242	△1,337
退職給付に係る調整額	27	224
その他の包括利益合計	56	△592
四半期包括利益	△1,416	1,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,849	1,011
非支配株主に係る四半期包括利益	433	234

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	376	3,088
減価償却費	3,552	2,388
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△3	△34
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	80	△10
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	108	△41
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△2,918
補助金収入	—	△295
減損損失	2,401	2,290
特別退職金	1,235	668
受取利息及び受取配当金	△139	△239
支払利息	149	103
為替差損益 (△は益)	18	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	△44	△513
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,398	4,117
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,206	45
未収入金の増減額 (△は増加)	130	333
未払金の増減額 (△は減少)	△485	△402
その他	442	72
小計	13,029	8,658
利息及び配当金の受取額	139	239
利息の支払額	△149	△103
補助金の受取額	—	295
特別退職金の支払額	△1,182	△668
法人税等の支払額	△846	△923
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,990	7,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,683	△832
有価証券の償還による収入	2,077	1,458
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△2,802	△3,690
有形固定資産の売却による収入	—	2,807
無形固定資産の取得による支出	△99	△62
定期預金の増減額 (△は増加)	△120	218
短期貸付金の増減額 (△は増加)	0	0
長期貸付けによる支出	△4	△0
長期貸付金の回収による収入	5	6
長期前払費用の取得による支出	△28	△49
その他	△32	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,687	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△278	△169
長期借入れによる収入	5,175	—
長期借入金の返済による支出	△1,249	△7,074
配当金の支払額	△1,154	△681
非支配株主への配当金の支払額	△149	△148
自己株式の取得による支出	△4,499	△0
その他	—	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,157	△8,089
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	△573
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,016	△1,315
現金及び現金同等物の期首残高	10,150	21,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,167	20,209

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首より、米国基準を採用する北米子会社を除いた在外子会社について、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が267百万円増加し、流動負債の「その他」が97百万円及び固定負債の「その他」が193百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。なお、従来、無形固定資産の「借地権」にて記載しておりました土地使用権728百万円につきましては、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の「土地」に含めて記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	52,719	51,348	4,583	108,652	—	108,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	137	137	△137	—
計	52,719	51,348	4,721	108,789	△137	108,652
セグメント利益又は損失 (△)	3,365	△19	273	3,620	0	3,620

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を2,091百万円計上しています。

「スピーカ事業」セグメントにおいて、遊休資産に係る固定資産の減損損失を309百万円計上しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	48,728	30,977	4,703	84,409	—	84,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	110	110	△110	—
計	48,728	30,977	4,813	84,519	△110	84,409
セグメント利益又は損失 (△)	2,571	388	△248	2,711	△0	2,711

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スピーカ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を978百万円計上しております。

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を1,050百万円計上しています。

「その他事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を262百万円計上しています。